

せんりやま かんだいまえ ちく  
千里山・関大前地区



# 第1章 千里山・関大前地区

## 1.1 選定理由

千里山駅周辺では、築後50年近くが経過した千里山団地について、老朽化とともに現在の生活ニーズに相応しい、新しい良質な住環境の供給が求められていることから、建替計画の具体化の時期を迎えています。そこで、まちの将来像についてとりまとめ、地域が抱える課題の総合的・一体的な解消をめざした「千里山駅周辺まちづくり懇談会」が、平成17年(2005年)7月に設立されました。

千里山・関大前地区では、懇談会と一体となった効率的・効果的なバリアフリー化整備を行うため、重点整備地区に選定しています。

### (1) 千里山駅、関大前駅の利用者数

千里山駅の一日平均乗降客数は約15,900人、関大前駅の一日平均乗降客数は約41,700人で、特定旅客施設の要件である5,000人を超えています。

平成16年(2004年)平均値：阪急電鉄調べ

### (2) 配置要件

高齢者や身体障害者等がよく利用する施設として、千里山佐井寺図書館等があります。また、関大前駅の駅東部に関西大学が立地しています。

### (3) 課題要件

関大前駅は、北千里方面ホームへは階段しかなく、大阪方面ホームへのスロープも見つかりにくい場所にあるなど、車いす利用者には利用しにくい駅となっています。また千里山駅・関大前駅周辺の歩道は、幅員不足、迷惑駐輪等の問題があり、バリアフリー化のための事業を実施する必要があります。

### (4) 効果要件

千里山駅周辺では、「千里山駅周辺まちづくり懇談会」において千里山駅周辺のまちの将来像の検討が進められています。まちづくりと交通バリアフリーの連携を図りながら、公共交通、歩道、信号等事業者による一体的なバリアフリー化整備を推進し、より効率的、効果的なバリアフリー化をめざします。

### (5) 緊急性

千里山駅・関大前駅周辺の歩道は、幅員が不足している箇所や、迷惑駐輪等が多くあり、早急なバリアフリー化整備が求められています。

## 1.2 位置および区域

### (1) 位置

千里山・関大前地区は、吹田市の中心部に位置しています。



図 -1 千里山・関大前地区位置図

(2) 区域

千里山・関大前地区は、下記の町丁目から構成される区域(約1.76km<sup>2</sup>)とします。

千里山月が丘、千里山虹が丘、千里山星が丘、千里山霧が丘、千里山松が丘、  
 千里山西1丁目、千里山西5丁目、千里山東1丁目、千里山東2丁目、千里山東3丁目、  
 千里山東4丁目、山手町3丁目、円山町

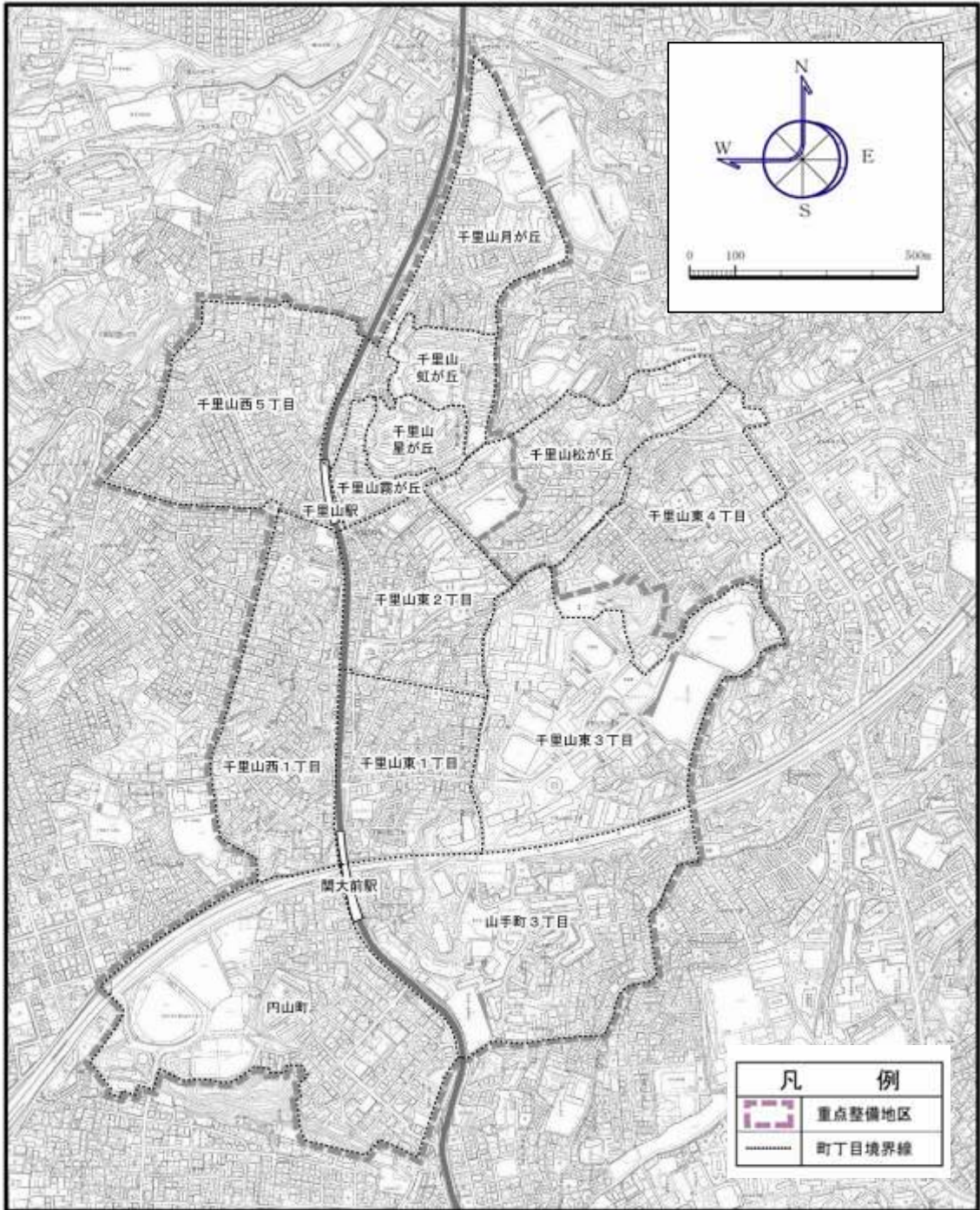


図 -2 区域図